



感謝する想いを伝える力～ありがとう～

校長 浅見 正史

校庭のイチョウの木も黄金色に染まり、北風が木の葉を散らす季節を迎えています。先月は、みんなできれいな街づくりを目指したレッツ・ジョイン！クリーン活動、東中をもっとよくし隊の方々による校庭の除草作業と、たくさんの生徒、保護者、地域の皆様に参加していただきありがとうございました。また、2年生の未来くるワーク体験（職場体験）、1年生の校外学習も無事に終わることができ、協力して取り組む姿に大きな成長を見ることができました。生徒の皆さんは、この経験をこれからの学校生活に生かしてください。



2024年も早いものであと一か月です。さて、12月は一年間を振り返り（反省）、来年へつなげる月でもあります。一生懸命取り組むことができた学習や運動、部活動、学校行事など、3、4年前のコロナの時と比べると、当たり前前の学校生活に戻ってきました。しかし、その当たり前前に感謝することを忘れがちになっていませんか。分からなかった問題を教えてもらった先生や友達、おいしい給食を準備してくださっている給食調理員さん、学校の隅々まできれいに整理整頓してくださっている学校業務さん、そして、各専門委員会の委員の皆さん、保護者や地域の皆様など、まだまだ多くの方々がありますが、様々な場面で大宮東中の皆さんを支えています。私は「感謝と謝罪は、機会を逃すと言い出しにくい。」素早く言えるよう心掛けています。12月の終わりには「今年も大変お世話になり、ありがとうございました。」と誰もが感謝を心の中に思い浮かべ、その気持ちを言葉で伝えられると2024年の締めくくりになると思います。誰もが「ありがとう」という言葉をいつでも大切にしたいですね。

<3年生にエールを送ります>

10月中旬から3年生全員を対象に校長面接を実施しています。校長室を面接会場とし、たいへん緊張している様子ですが、礼儀正しく、さすが東中生と感じます。質問は、名前の由来、志願理由や中学校での生活・学習など様々ですが、どの生徒も自分なりの考えをしっかりと答えています。参考までに、中学校生活の一番の思い出は、合唱コンクール、体育祭、修学旅行、部活動の順に多く、学級や集団が一致団結し、目的・目標に向かって取り組み、互いに競い、そこに感動があったと答えていました。改めて、3年生が東中を引っ張ってくれていたことを実感しています。

**「輝石の3年生！ありがとう。この冬も頑張れ」 7ー 7ー 青学年！**